

NPO 法人埼玉県キャンプ協会
http://saitama-camping.jp/

〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 3551 浦和大学 中島研究室
E-mail saitama@camping.or.jp

きぬた

きぬた 161 号

(1 ページ)

- OPINION
「鯉のぼりは風をうけ空を泳ぐ」
- INFORMATION
「事務局、電話廃止のお知らせ」
「会員の投稿を募集しています」

(2 ページ)

- イベントリポート
「キャンブインストラクター養成講習会」
- イベントインフォメーション
「親子キャンプ」



INFORMATION

事務局の電話を廃止しました

この度、業務の効率化のため、2025 年 6 月 1 日より電話でのお問い合わせを終了させていただきました。

今後は、メールからご連絡をお願いいたします。

対応にはこれまで以上に丁寧・迅速を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員の投稿を募集しています

OPINION / Come on SCAJ ! /
Camp 情報

キャンプ体験、感想や意見、楽しい活動の写真、キャンプに関する情報を発信してみませんか。投稿が、「きぬた」や「ホームページ」に掲載された方には、もちろん素敵なプレゼントを贈呈します。ただし、公序良俗に反するもの、個人のプライバシーを侵すもの、個人を誹謗中傷するものは、不採用とさせていただきます。

左の QR コードから投稿できます。



投稿先 saitama@camping.or.jp

会員から届いたキャンプの話題や体験談、ご意見などを紹介します。

OPINION

鯉のぼりは風をうけ空を泳ぐ

4 月末から 5 月にかけての時期、車を運転していると川にかかる鯉のぼりの群れを目にすることが多くなります。かつて鯉のぼりは家庭の庭先に揚げられるものですが、令和の今では、公共の場に揚げられたものの方が目にする機会が増えているように感じます。風を受けて泳ぐ鯉のぼりの姿は、「風」という存在をあらためて意識させてくれます。

私の日常の多くは、机上でパソコンに向かって作業する時間に費やされています。そのため、「風」を肌で感じる機会はほとんどなくなり、鯉のぼりや、ディスプレイに映り込む樹木の揺れなど、自分以外の「もの」を通じてようやくその存在を感じ取るようになりました。こうした「もの」を介して環境の刺激を知覚するという構造は、現代社会の一側面を象徴しているようにも思えます。

私の最近の野外活動のフィールドのひとつに、千葉・内房があります。浦賀水道を眼下に望むその場所は、野外活動に関する仕事の場であると同時に、年に数回、自身の心を“オーバーホール”するために訪れる“秘密基地”でもあります(秘密というほどのものではありませんが…)。180 度開けたその海では、右手に横浜のビル群がうっすらと浮かび、左手には勝山の浮島を借景に館山方面まで見渡せます。日本海や太平洋に見られる広大な水平線も魅力的ですが、私にとっては、地形を含んだ富津の海が、飽きることのない絶妙な“海景”なのです。

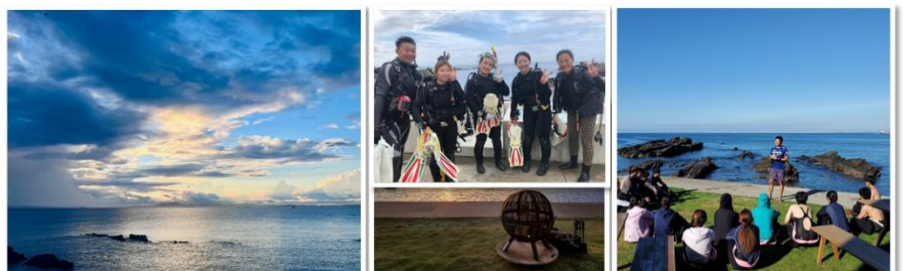
さらに、この海で私の目と心を楽しませてくれるのが、絶え間なく左右に行き交う船舶の姿です。日中の視界には、常時 100 隻ほどが浦賀水道を航行していますが、船舶が発する音は陸地にはほとんど届きません。しかし、沖から吹いてくる「風」は常に私の身体に届きます。その「風」を通して、船上の人々の不安や希望のようなものが、まるで私の心に伝わってくるように感じられるのです。船の“活きた息吹”が、風を媒介として私の身体に届いてくる—そんな感覚を覚えます。

「風景」という言葉は、まさに言い得て妙です。この景色は、ただ目で見たものというより、「風」を通して肌で感じたものなのだという錯覚に陥るのです。まるで、景色を「肌で見ている」かのような感覚です。そんな「風」が運んでくれる景色に身を浸す時間が、また私の心を新たにしてくれます。

この原稿がお手元に届く頃には、街中で笛に揺れるカラフルな短冊が、再び「風」の存在を私に教えてくれているかもしれません。

季節の便りを「肌」で感じる日々を、もう一度取り戻したい—そう思いながら、今日も私は机に向かっていきます。

NPO 法人埼玉県キャンプ協会常務理事 田井健太郎



イベントレポート

キャンプインストラクター
養成講習会

2025 年 5 月 7 日(水)・5 月 14 日(水):オンライン研修
2025 年 5 月 17 日(土)～5 月 18 日(日):実技研修

会場 長瀬カヌースクール

キャンプインストラクター養成講習会は、参加者 5 名で実施されました。理論講習はオンラインで行われ、初めは接続や操作に戸惑う様子も見られましたが、次第に落ち着いて学びに集中する姿が見受けられました。

対面での研修では、不安定な天候の中でのテント設営や活動内容の調整を通じて、実践的な判断力と柔軟な対応力が求められました。雨雲レーダーや観天望氣を活用しながら進めた運営は、参加者にとっても大きな学びとなったのではないのでしょうか。

メインアクティビティのラフティングでは、雨上がりの清流を楽しみながら、長瀬の自然を体感しました。野外炊飯では、カレーコンテストや郷土料理づくりにも挑戦。初日は火起こしや役割分担に苦戦する場面もありましたが、2 日目には受講生同士の協力も自然と深まり、見違えるほどスムーズな連携が生まれていました。

ナイトセッションでは、堀口会長のダッチオープン料理を囲みながら、講話や意見交換が和やかに行われました。

プログラムの最後には試験が実施され、全員が無事にインストラクター認定を受けました。

皆様の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



イベントインフォメーション

親子キャンプ

ファミリーキャンプへのはじめの一歩！！

家族みんなで協力して、テント設営から野外炊飯まで、キャンプの疑問を解決する、一泊二日のキャンプ体験です。

○期日 10 月 25 日(土)～26 日(日)

○場所 埼玉県立神川げんきプラザ

○費用 中学生以上 6,500 円 小学生:6,000 円

○申込期間 9/5-9/19

○申込先 埼玉県立神川げんきプラザ 0495-77-3442

(申込み多数の場合一抽選)

5 月通常社員総会の報告

令和 6 年度事業報告	実施日	場所	参加
キャンプインストラクター養成講習会	5/25・6/1～2	長瀬カヌースクール	6 人
キャンプインストラクター同窓会キャンプ	7/6～7	神川げんきプラザ	10 人
研修会	7/14	与野本町コミュニティセンター	12 人
大人のソロキャンプ	9/27～28	神川げんきプラザ	10 人
埼玉県レクリエーション大会 in さいたま	10/27	埼玉大学	73 人
創立 40 周年記念事業	10/19～20	小川げんきプラザ	71 名
親子キャンプ	10/24～25	神川げんきプラザ	27 人
埼玉の地酒を学ぶ(ダイキャンプ)	11/9	神川げんきプラザ	4 人
雪遊びキャンプ	3/1～2	前橋市赤城少年自然の家	28 人
ブッシュクラフト	3/20	神川げんきプラザ	10 人
協会リーフレット作成	通年	発行部数 500 部	
会報きぬた発行	年 4 回	発行部数 1,741 部	
協会ホームページ管理	通年		
Come on SCAJ 事業	通年		0 人

令和 6 年度決算報告		
収入の部		
会費	1,055,000	正会員受取会費
事業収入	537,810	普及事業収益、養成事業収益
その他収入	51,692	受取負担金、利息
当期収入合計	1,644,502	
支出の部		
事業費	2,147,737	普及事業、養成事業、広報事業
管理費	686,337	会議費、通信費、事務局費用等
当期支出合計	2,834,074	
当期収支差額	-1,189,572	
前期繰越金	4,396,222	
次期繰越金	3,206,650	



NPO 法人埼玉県キャンプ協会

<http://saitama-camping.jp/> E-mail saitama@camping.or.jp

〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 3551 浦和大学 中島研究室

ホームページはこちら→

